

事業報告

<研修名>

平成30年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会（初任者研修）

<開催日時>

平成30年5月21日（月） 10:00～16:00

<会場>

県立図書館 1階 第2・3研修室

<参加人数>

42名

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、体系的に図書館サービスの基礎を学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

<研修内容>

【講義1】講義 「図書館サービスについて」

講師：県立図書館 サービス課 主幹司書 梅田 潤子

図書館とは何か、図書館に関わる法律、公立図書館に求められる役割など、図書館サービス概論についての講義でした。カウンター業務や複写に関する著作権にも触れました。

【講義2】講義 「郷土資料について」

講師：県立図書館 サービス課 主任司書 阿部 詠子

レファレンスサービスについての基本的な事項及び郷土資料の収集・保存の意義についての講義でした。県立図書館の整理、保存、情報提供の工夫や資料を劣化させないための取り扱い方についても紹介しました。

【講義3】講義 「市町村図書館における県立図書館活用方法について」

講師：県立図書館 学校・地域支援課 主幹司書 立川 由美

※館内見学実施

貸出サービス、研修など市町村図書館向け事業の説明をした後、書庫や選書室などバックヤードも含めた館内見学を行いました。

【講義4】講義 「児童サービスについて」

講師：県立図書館 サービス課 主任司書 辻 さやか

児童サービスの基本について、児童図書館員の役割、蔵書構成、環境整備、展示についての講義でした。選書の大切さについても、詳しく説明がありました。

＜当日の様子（写真）＞

【研修風景】



【館内見学】



＜参加者感想＞

- ・仕事を始めてまだ間もないので「あ、そうなんだ」と思うことがとても多く、勉強になりました。
- ・司書資格を取得したのがかなり前だったので、今回再度基本を学ぶことができてよかったです。
- ・自分の担当業務以外の基本を知ることができて参考になりました。
- ・初めて県立図書館へ来ました。4月から働き始めましたが、ふりかえるところがあり、明日から実践したいと思います。新しいことが学べる機会ができてよかったです。
- ・館内を見学できたのがとても興味深かったです。相互貸借の様子を見れたのが新鮮でした。